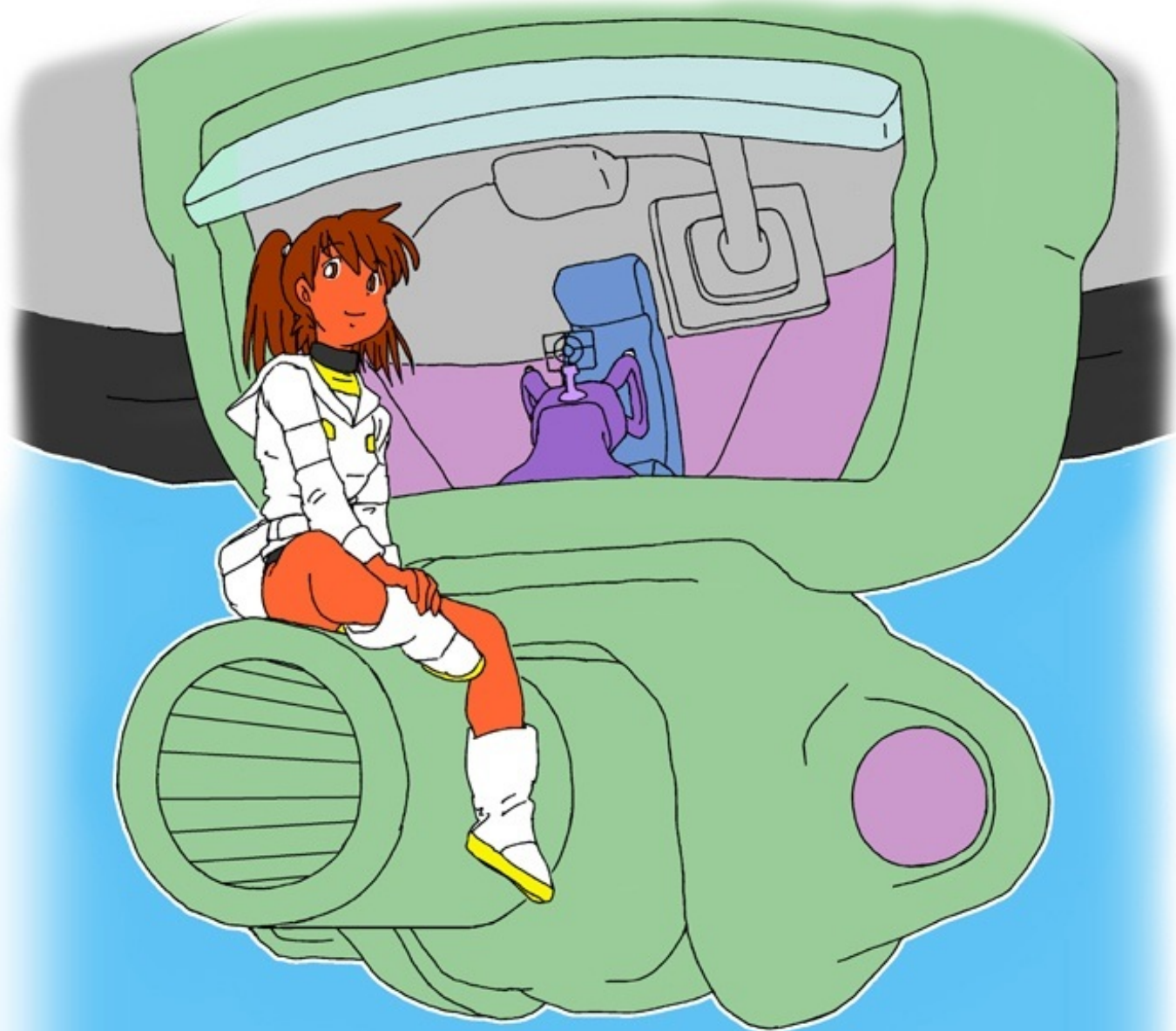


FLOATOPIA

フロートピア

ACT 1

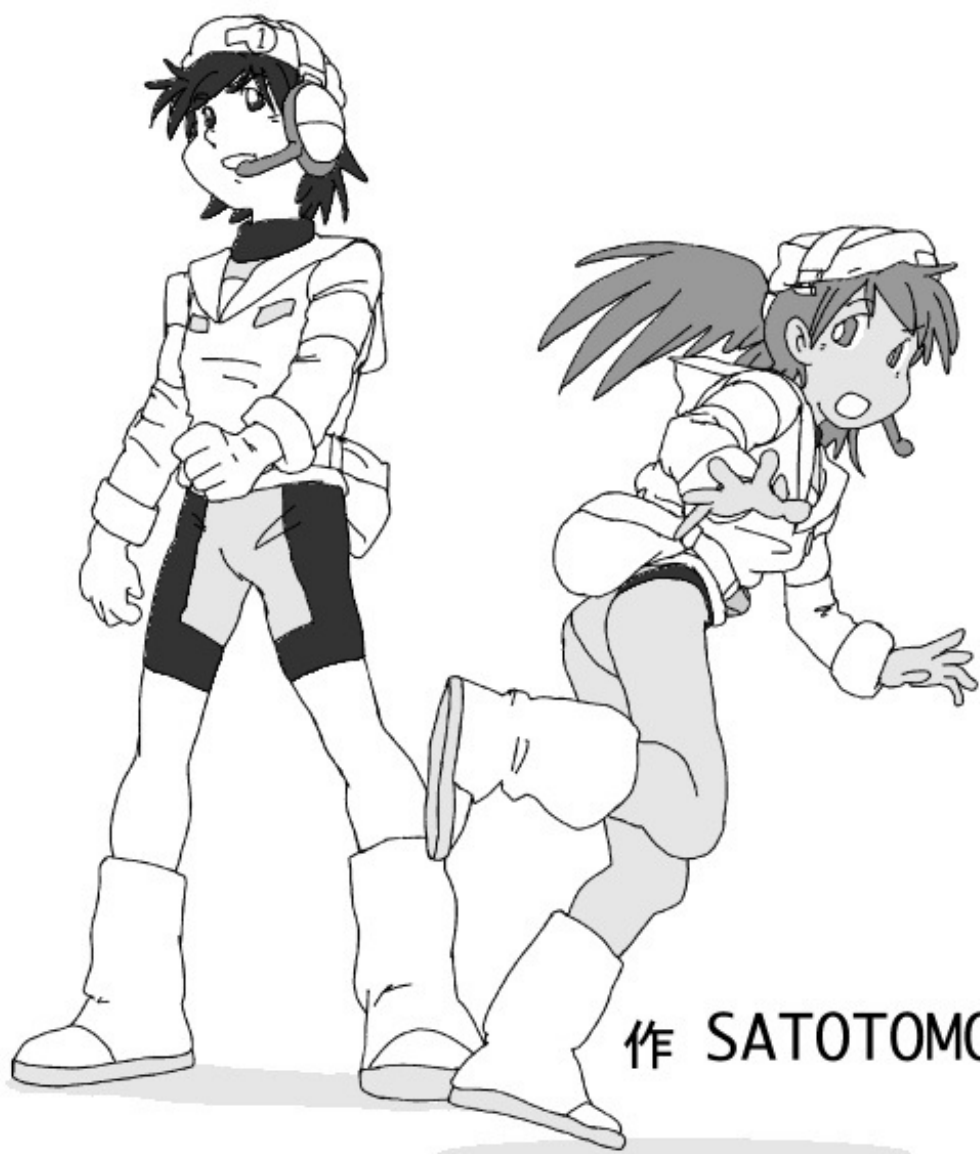


作 SATOTOMO

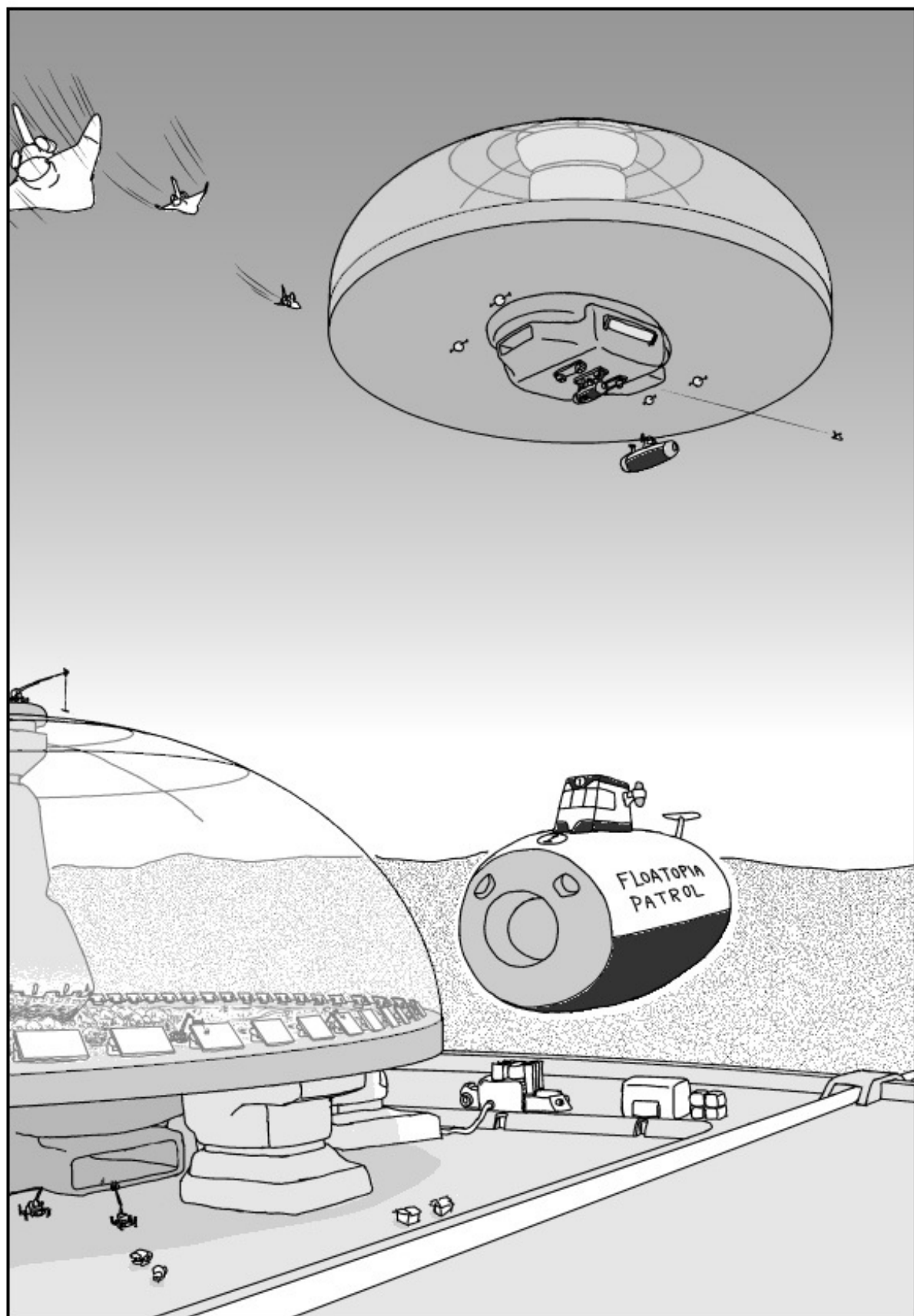
FLOATOPIA

フロートピア

ACT 1



作 SATOTOMO





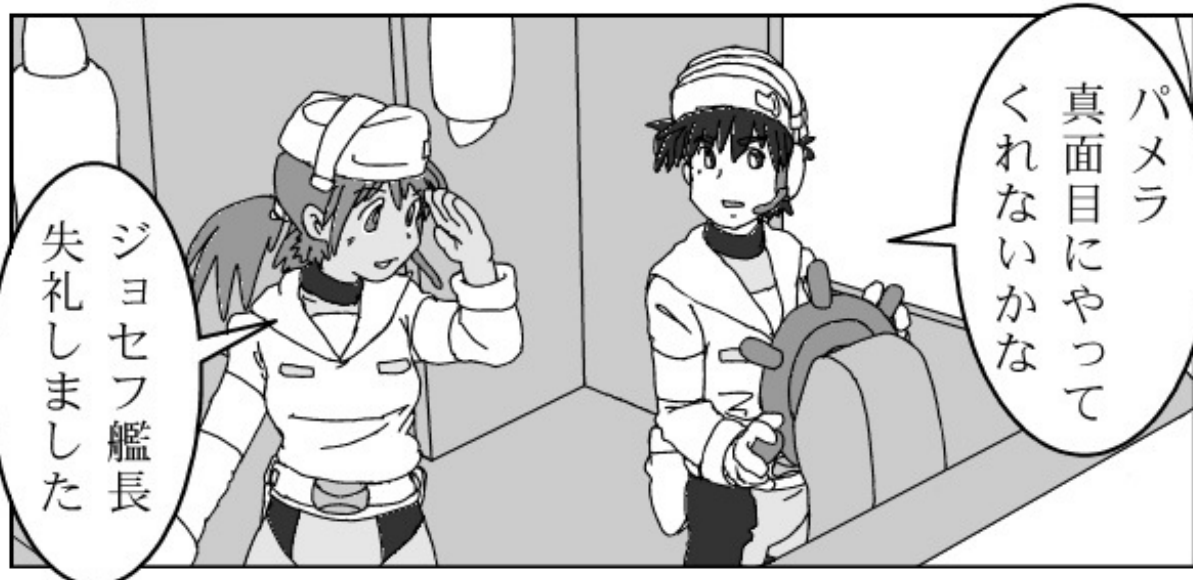
シヤトルが
2号島に入港する
みたいですね



俺達の担当は
地上の1号島の
パトロールだ

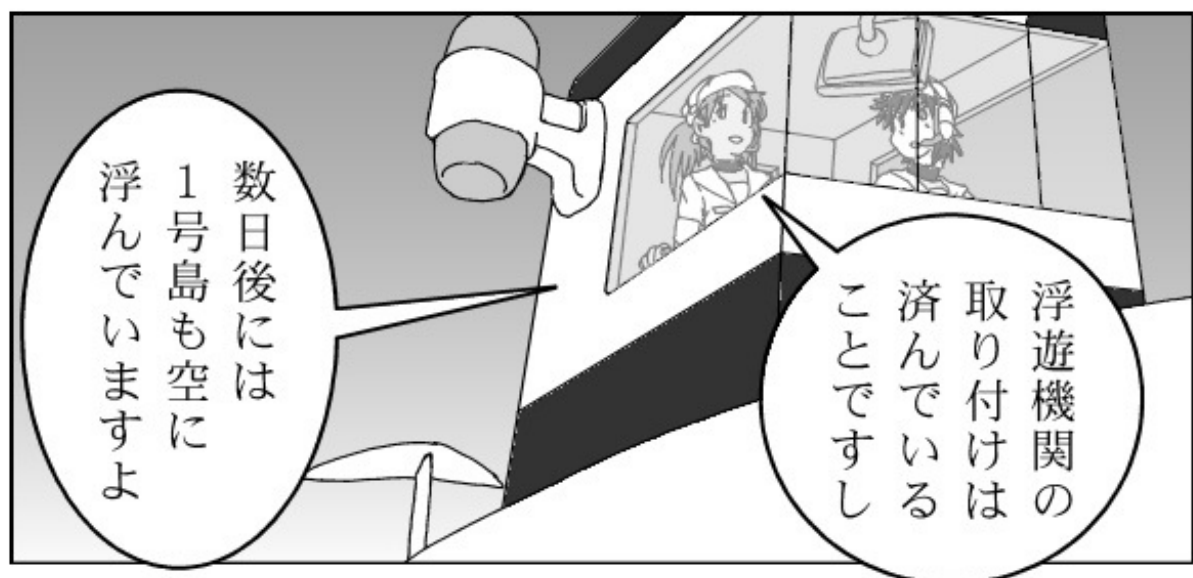
上空の2号島
じゃないよ

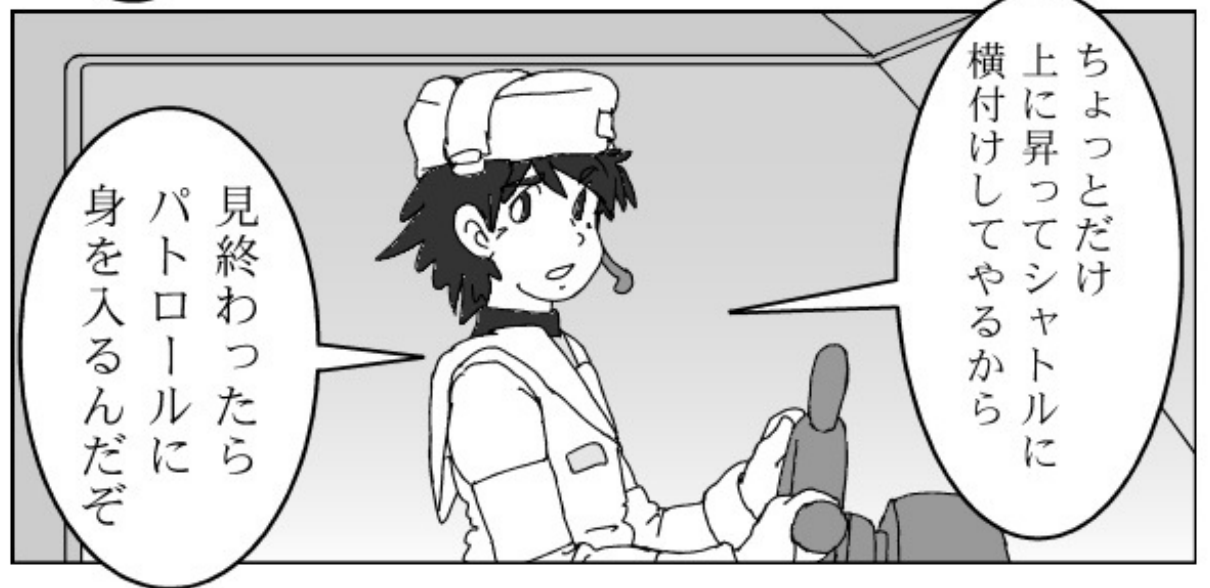
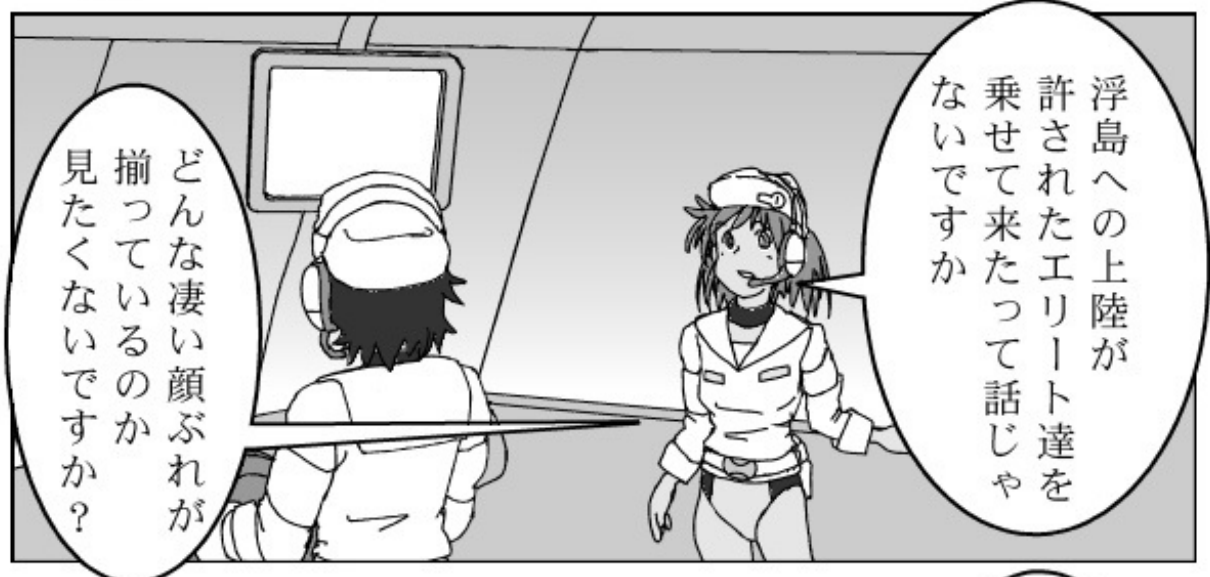
あんなものが
浮いてるなんて
変な感じですね



パメラ
真面目にやって
くれないかな

ジョセフ艦長
失礼しました







さすがキャップ
話が解る！

それじゃ
急いで見に
行きましょう

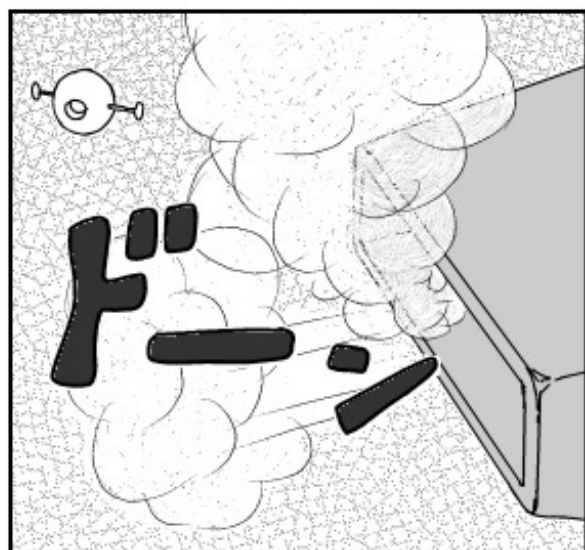


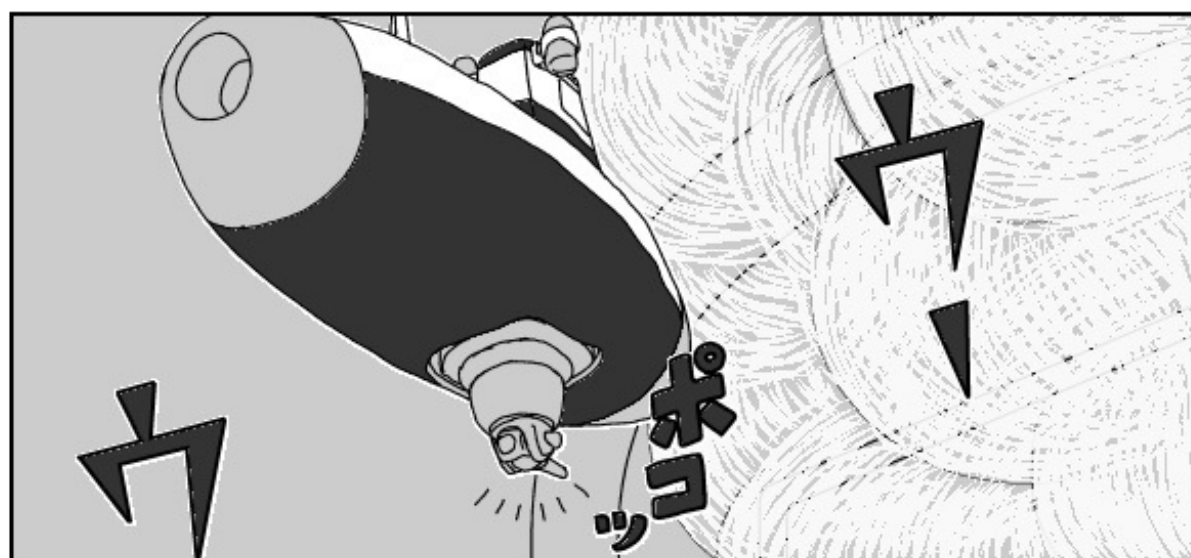
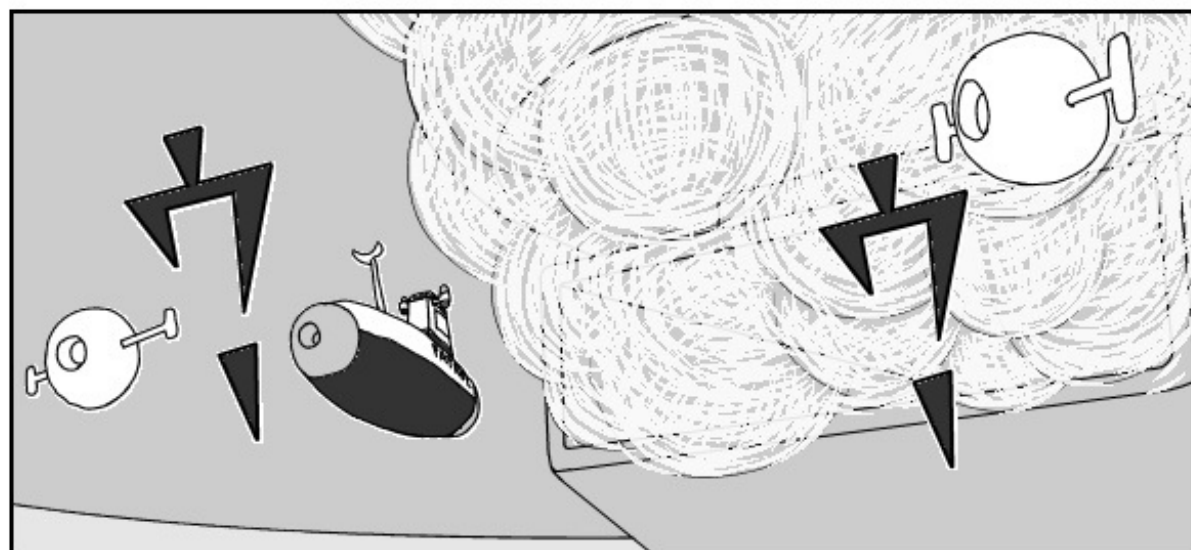
あのシャトルが
入港待ちの
船団の最後の
1機なのかな？




何機かはもう
入港してしまっている
みたいですね









こちらは
パト艦2号
シーラ

貴艦とは
ポートブロックを挟んで
反対側に位置しています

現在、2号島の
保安部隊からの
連絡を待っている
ところです

パト艦1号
ジョセフ了解

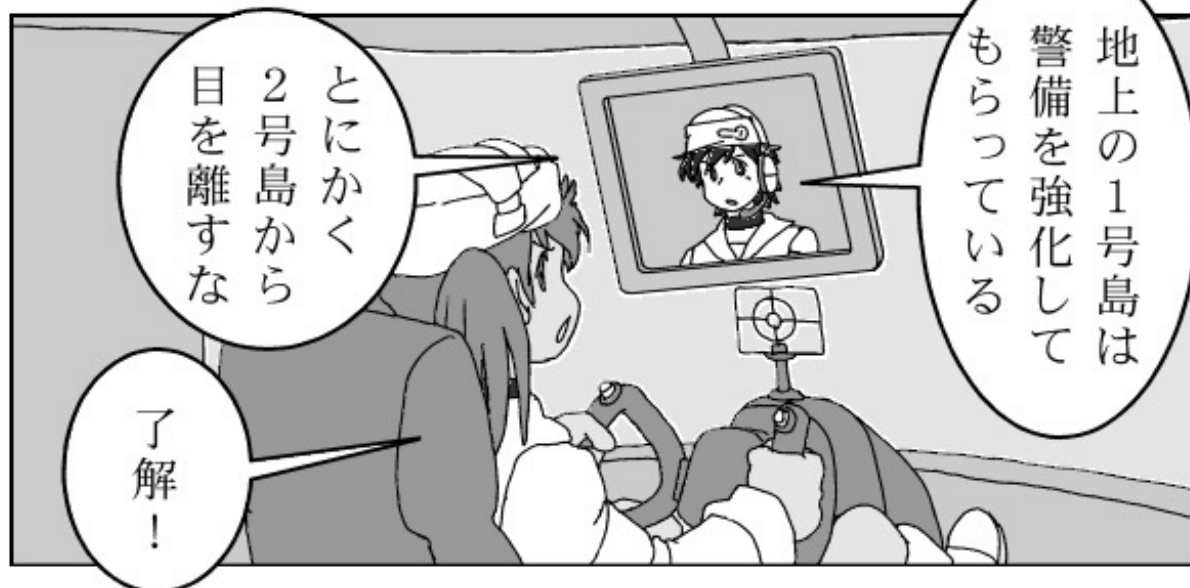
人質の安全を
最優先に
よろしく



かなり手慣れた連中だ
ということはわかる
ポートブロックは
浮島への出入りの
要所
そこを的確に
抑えてきている



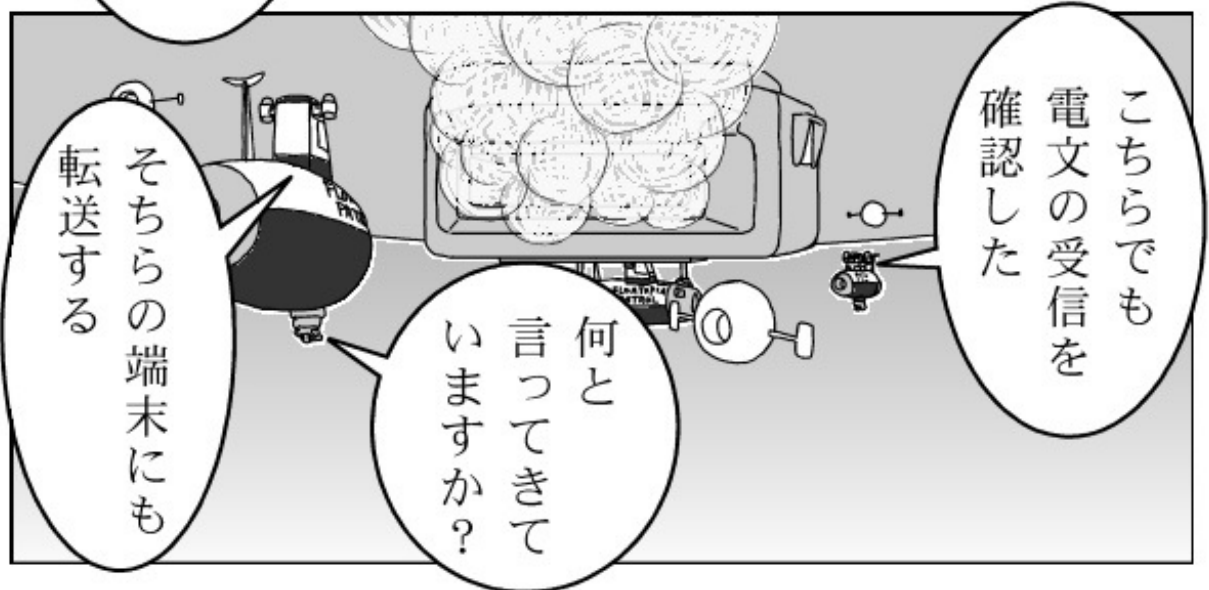
相手がわからないと
これからどうするか
困りますね



地上の1号島は
警備を強化して
もらっている

とにかく
2号島から
目を離すな

了解！



2号島は
完全に賊の手に
落ちているみたい
ですね

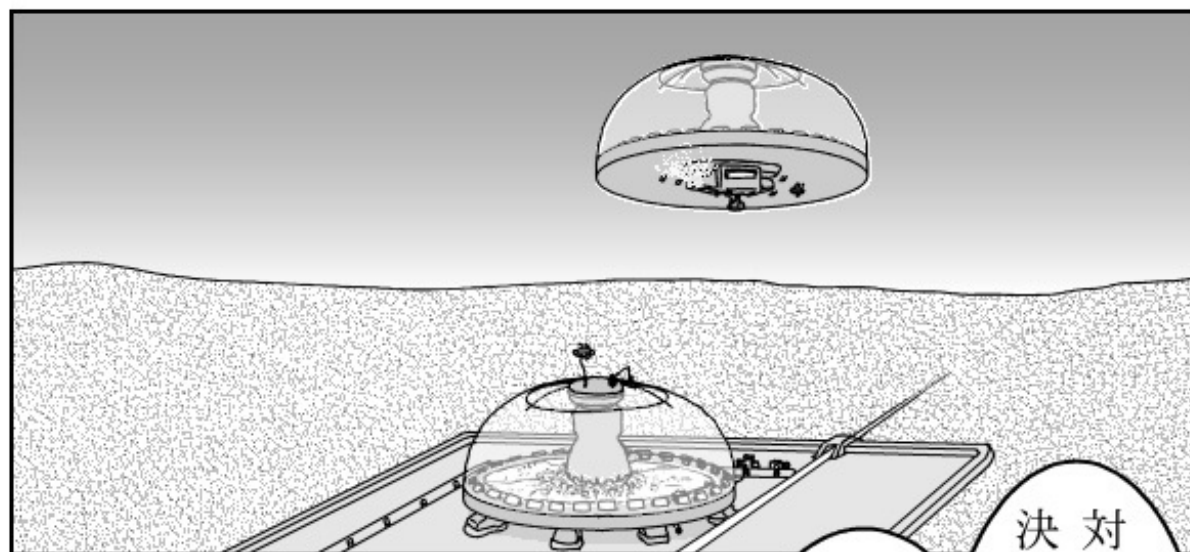
声 明

フロートピア2号島は、
我々「デストリア軍」が頂いた。
1号島についても明け渡しを要求する。
明朝までに、施設からの全員の退去を
完了せよ。
人質は、退去の確認後に解放する。
尚、反抗の意志あらば、人質の命は
保障しない。

それにしても
相手が独立国家の
軍隊だったとは

我々だけで対応を
決められない

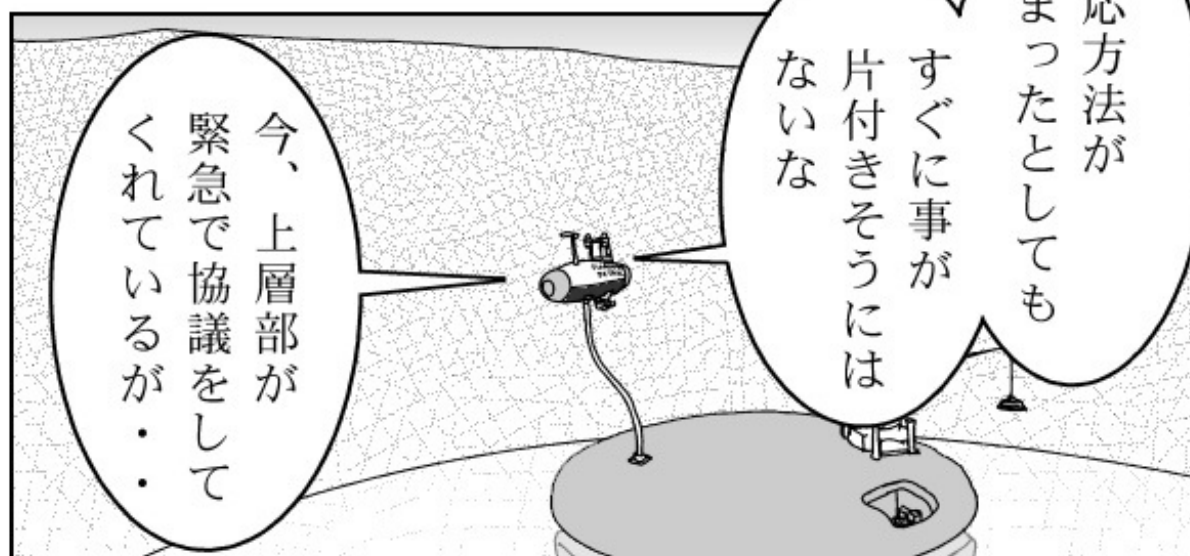
上層部の指示待ち
ということに
なりますね



対応方法が
決まったとしても

すぐに事が
片付きそうには
ないな

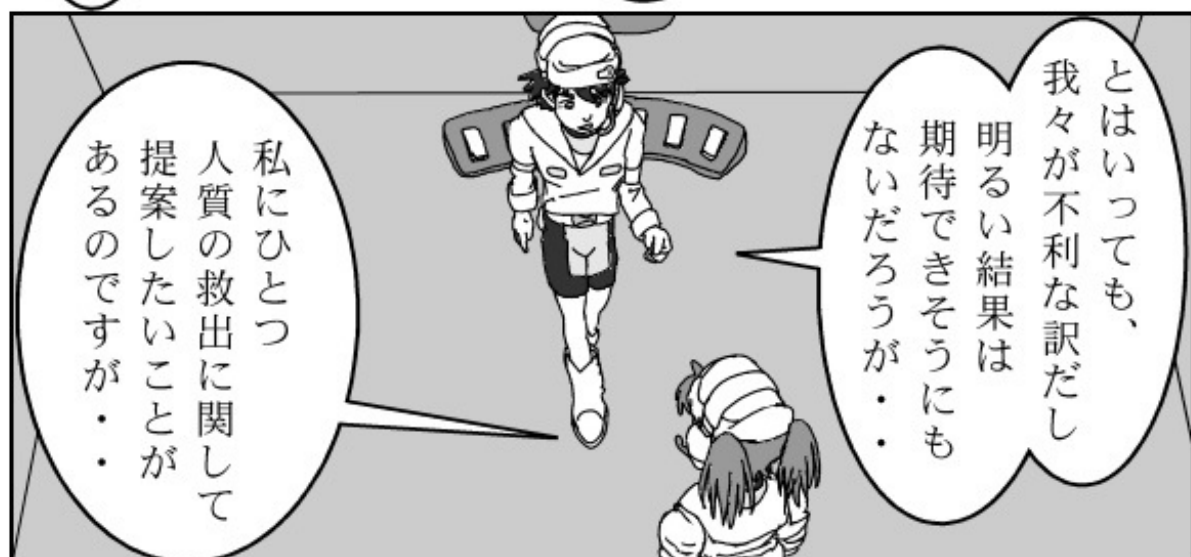
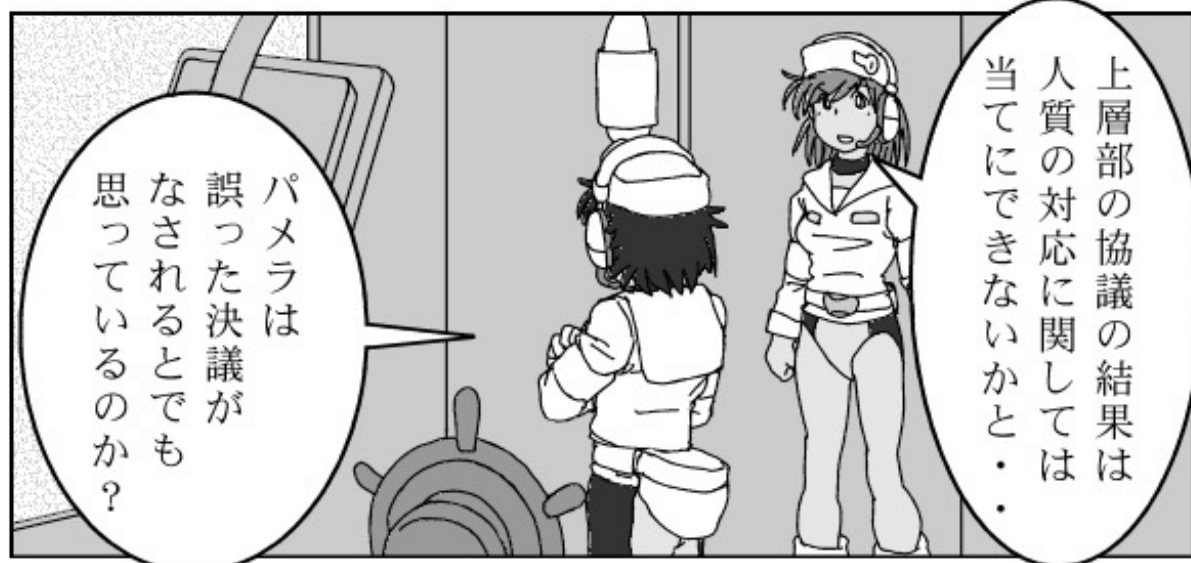
今、上層部が
緊急で協議をして
くれているが・・

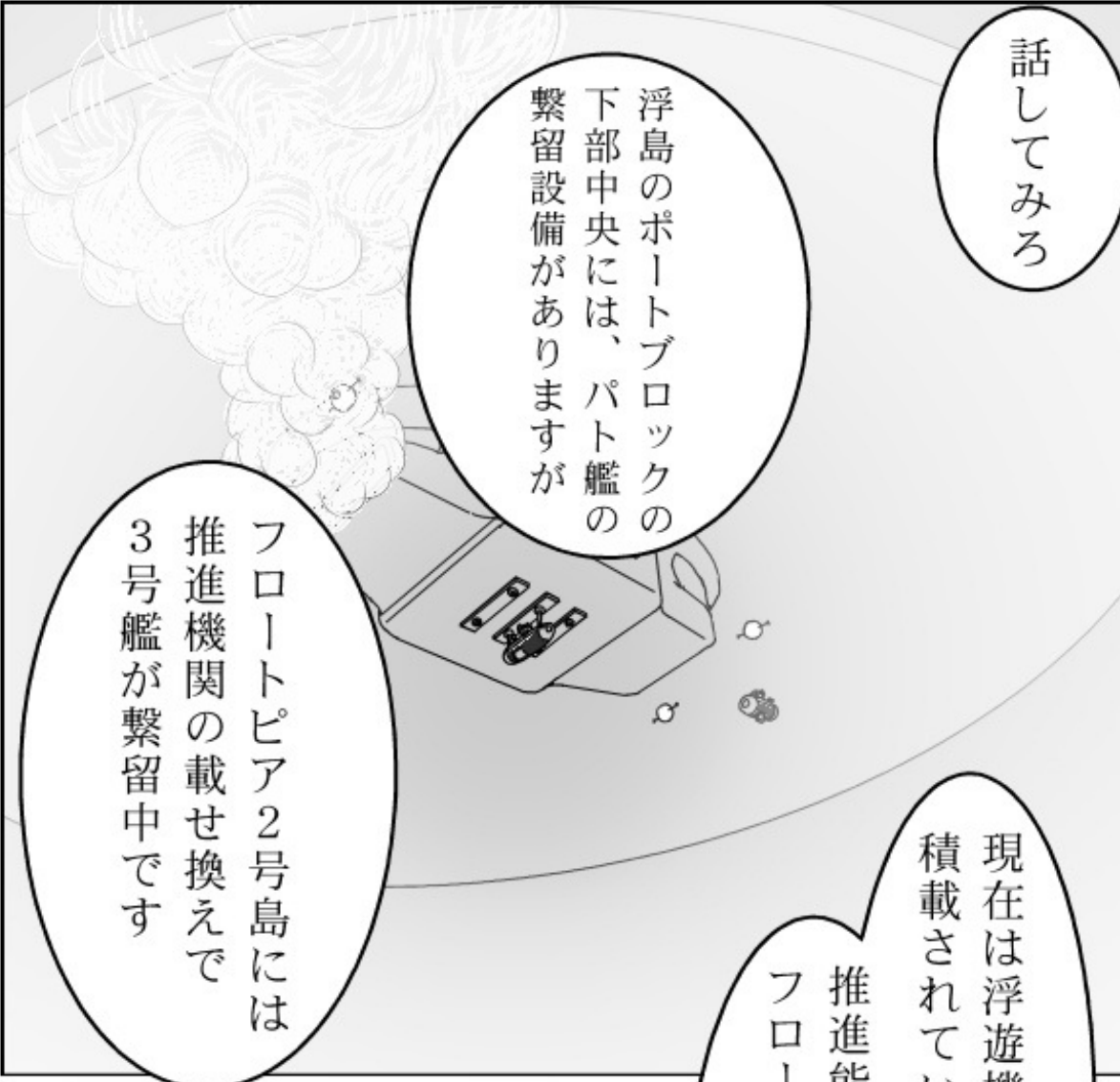


本艦の電池も
残り少ない
です

こちらの充電が
完了次第
交代しよう

ちよつと
よろしいですか？





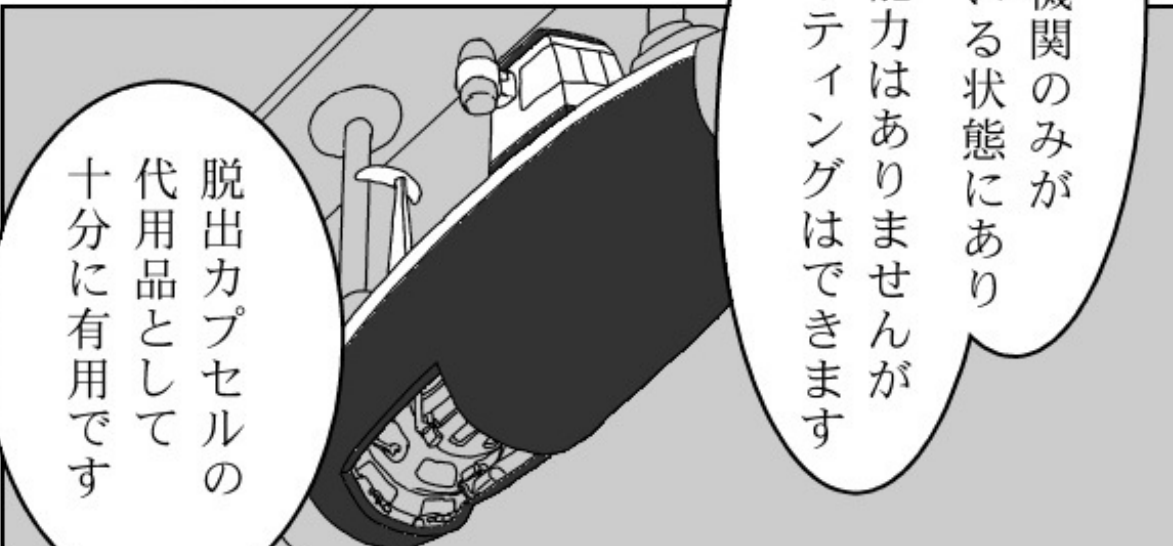
話してみろ

浮島のポートブロックの
下部中央には、パト艦の
繫留設備があります

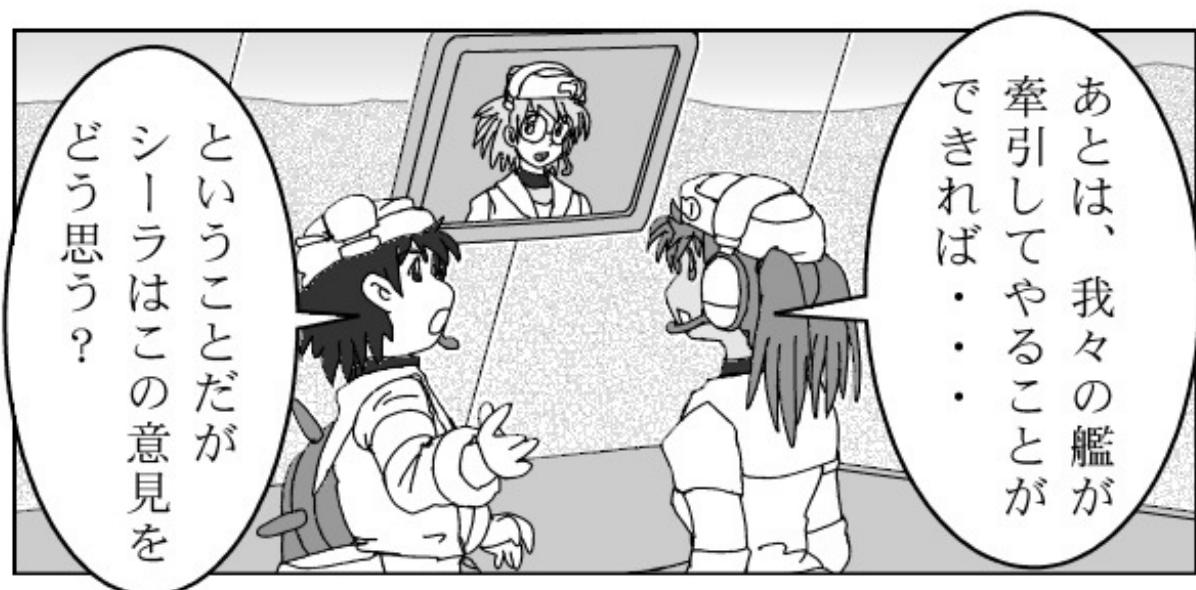
フロートピア2号島には
推進機関の載せ換えで
3号艦が繫留中です

現在は浮遊機関のみが
積載されている状態にあり

推進能力はありませんが
フロートイングはできます



脱出力プセルの
代用品として
十分に有用です



ACT2へつづく・・・

FLOATOPIA ACT1

作者 SATOTOMO

E-mail BXJ05041@nifty.com

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2013年10月12日

本書の一部または全部を無断で
複製することは禁止します。

FLOATOPIA ACT1

<http://p.booklog.jp/book/77805>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/77805>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/77805>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ